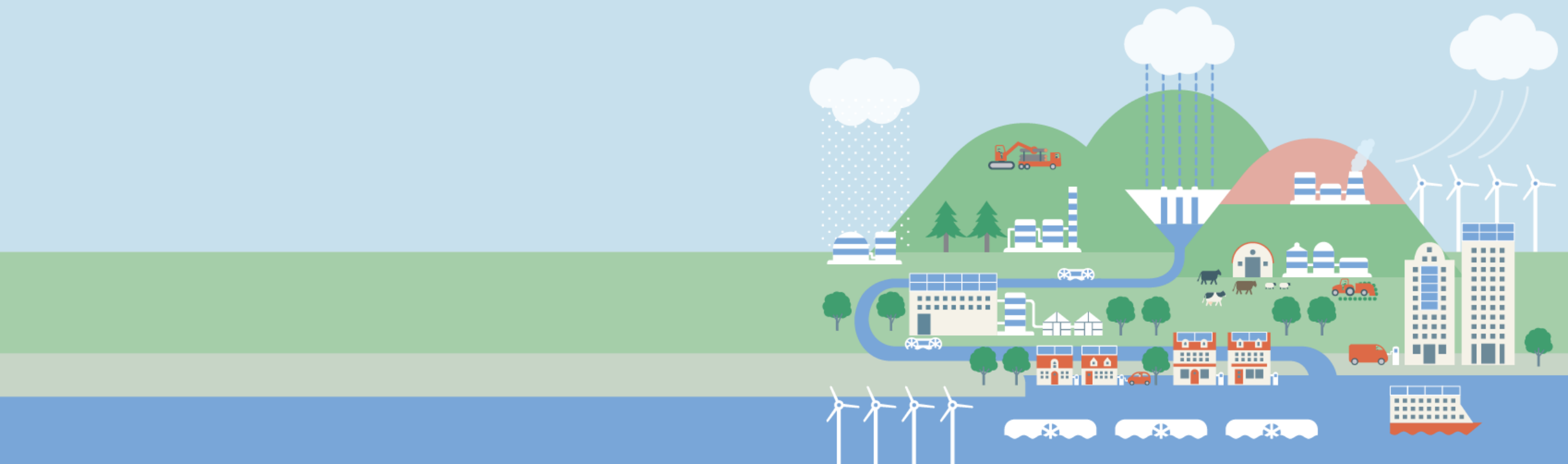


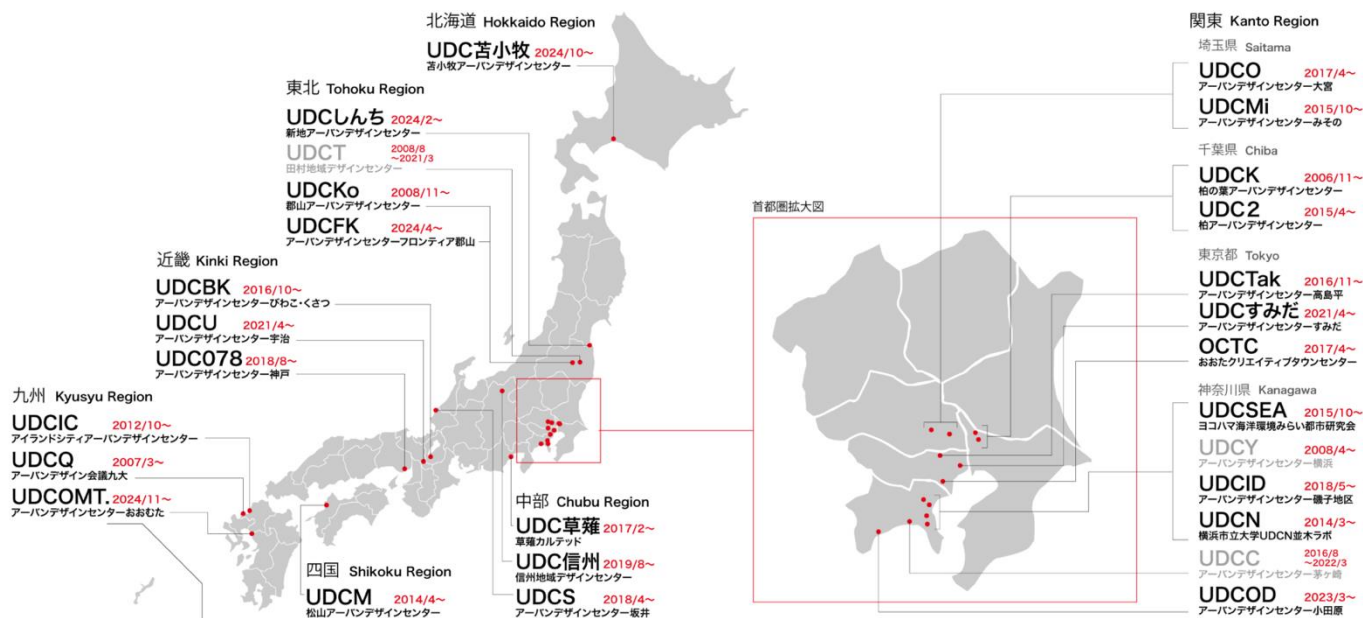
GX × MESHSTATS

- 多面的な価値を可視化し、環境と経済の両立を目指して -

アーバンデザインセンター神戸（UDC078）



アーバンデザインセンター神戸（UDC078）とは



引用：UDCイニシアチブ <https://udc-initiative.com>

・UDC

アーバンデザインセンター（Urban Design Center）の略称で、課題解決型＝未来創造型まちづくりのための公・民・学連携のプラットフォーム。

2024年4月現在：全国28拠点

※2拠点は活動終了

・UDC078

2018年8月設立。

システム情報学を基礎学理とするシステムズ・アプローチを用いて神戸市における人々の都市生活をデザインする。都市生活をおくる市民・人々が活動する都市の間の時間的・空間的相互作用を陽に考慮し、相互作用の媒介となるべきシステム・情報により、ソフト・ハード、サイバー・フィジカル両面を含んだ都市デザインの新しい方法論を構築する。

テーマの概要

自然と人との深いつながりを象徴する「森里川海の循環」という考え方があります。特に、森林や土壌に注目し、自然資源の循環と再生をデータで見える化することを目指します。森林は、CO₂吸収や生物多様性の源であり、土壌は、農業や森林保全に不可欠な基盤です。これらの要素を、MESHSTATSを活用したデータ可視化や分析により、GX（グリーントランスフォーメーション）と結びつけた具体的なアクションを提案してください。

募集するアイデア

- ・ 森林保全・再生：森林資源の活用状況やCO₂吸収量の可視化、間伐材利用の促進方法
- ・ 土壌再生：土壌の栄養状態や炭素ストック量のモニタリング手法
- ・ 森と里のつながり：森林から川・里・海へと続く水循環や生態系のデータ可視化

アイデアの例

- ・ 森林のCO₂吸収ポテンシャルを地域別に可視化
- ・ 土壌の炭素蓄積量や肥沃度を測定・表示するプラットフォーム
- ・ 森林破壊や劣化を予測するAIモデル
- ・ 森里川海のつながりを「目で見える」マップ（例：水の流れや栄養移動の可視化）
- ・ 森林の健康状態や樹木種ごとの役割を示すインタラクティブなデータ

評価のポイント

- ・ 森林や土壌の重要性の明確化：提案が「森」や「土」の役割を具体的に示しているか
- ・ 循環型社会への貢献度：森里川海全体の循環や再生への影響が具体的かどうか
- ・ データ活用の独創性：森林や土壌データをどのようにユニークに利用しているか
- ・ 社会的インパクト：地域住民が活用できる提案であるか

副賞

Amazon ギフトカード